

2025年度 関西学院短期大学保育学会 研修会 未来に生きる子どもたちと絵本を読むということ

2025年6月7日(土) 14時00分～17時00分(13時30分開場)

講師：正置 友子(まさき・ともこ)氏

◆プロフィール◆



元聖和大学教授。絵本学研究所・青山台文庫主宰
1940年名古屋市生まれ。1962年愛知県立女子大学英文科卒。1965年結婚と同時に大阪へ。1973年千里にて青山台文庫を開設。1994年英国のローハンブトン大学大学院に留学。2000年ヴィクトリア時代の絵本の研究論文で同大学院にて博士号(PhD)を取得。2012年大阪大学大学院臨床哲学にて哲学の研究を開始。2018年絵本をメルロ＝ポンティの現象学をとおしての研究論文で博士号(学術)を取得。
現在、青山台文庫・絵本学研究所主宰。著書に、『保育のなかの絵本』(かもがわ出版)、『A History of Victorian Popular Picture Books』『イギリス絵本留学滞在記』『メルロ・ポンティと〈子どもと絵本〉の現象学―子どもたちと絵本を読むということ―』『生きるための絵本』(以上、風間書房)、訳書『絵本の絵を読む』(玉川大学出版部)など多数。

◆参加者へのメッセージ【講師からのお願ひ事項】◆

子どもたちと絵本を読むということは、その場限りのものとしてただ面白いからではなく、目の前にいる子の心の中に種をまくことであり、その子の一生の〈たからもの〉となり、命尽きる時まで支えとなる、そんな絵本を選び、読んでいただきたいです。
今回メインに検討する絵本は、『三びきのやぎのがらがらどん』[ノルウエーの昔話：マーシャ・ブラウン/絵 瀬田貞二/訳 福音館書店 1865年(アメリカ1957年)]です。
前もって、できるだけ、今回の絵本(『三びきのやぎのがらがらどん』)を、よく見てきてください。機会があれば、子どもたちと読んできてください。あるいは、園の先生たちと読みあってきてください。当日の勉強会が、一層深いものとなります。

◆研修内容◆

- ・絵本についてのおはなし(正置先生の講演)
- ・絵本についてグループで話し合い、深めあい、発表する(参加者ワークショップ)
- ・まとめ(正置先生によるアドバイス)

会 場： 関西学院 西宮聖和キャンパス 山川記念館 2 階
メアリー・イザベラ・ランバスチャペル
西宮市岡田山 7 - 54

対 象 者： 幼稚園教諭、保育教諭、保育士等の教育・保育関係者、
行政関係者、本学の学生および卒業生、一般の方

参 加 費： 無料

申込方法： 以下QRコードよりお申し込みください。



<https://forms.office.com/r/jKsz79bEPX?origin=lprLink>

【問合せメール】 関西学院短期大学保育学会事務局(kgtandaihoiku@gmail.com)

なお、キャンパス構内には、**駐車場設備はございません**。公共交通機関をご利用にてお越しください

定 員： 100名(先着)

申込〆切： 2025年6月3日 (火) *定員になり次第締め切ることがあります